学びの基盤となる【読書】



【読書】キャラクター「おっほん」

【２０２６年度】

札幌らしい特色ある学校教育

おっほんシート

札幌市立簾舞小学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

■「ボランティアによる読み聞かせ」

開放図書館「ゆめぶんこ」のボランティアさんによる読み聞かせを行っています。「出張読み聞かせ」では、各学年で、ボランティアさんがとても楽しい本を読んでいただけます。読み聞かせの本は、図書館に展示しています。

読み聞かせを聞いて、手に取って借りていく児童の姿が見られています。



■「ゆめぶんこ　みんなの推し本フェス」



11 月上旬に行いました。「しゃしんの本」「しゅみ・スポーツの本」「どうぶつの話の本」「ふしぎな話の本」「たのしい話の本」から読んでみたい「推し」の本を児童が選ぶイベントです。

選ばれた本は、校内で発表し、購入します。

学習センターとしての機能

■「授業への活用」

学びが広がることを目指して、国語や社会などの単元に合わせて、各学級に関連する図書を貸し出しています。

「本は友だち　『本で知ったことをクイズにしよう』」（3 年生国語）、「工芸品のみりょくを伝えよう」（4 年生国語）など、図書館の本を使って、学習を進めることができました。

「おすすめの一さつを決めよう」（３年生）「作家で広げるわたしたちの読書」（5 年生）などでは、図書館の本を使って取り組みました。出来上がった紹介カードとその図書は、図書館内に掲示して、他の学年の本選びの参考にもなりました。



情報センターとしての機能

■北海道・札幌市に関する図書コーナー

総合的な学習の時間では、各学年で簾舞地区や定山渓鉄道、本校に保管されている「青い目の人形」などに関する調べ学習を行っています。また、アイヌの人たちの暮らしについても学習します。

今年度、ゆめぶんこ内にある北海道や札幌市、簾舞地区に関する図書などを集めて、コーナーにしました。

調べ学習の際には、タブレットを使った検索だけでなく、図書による調べ学習を平行したり、選択したりして行うことができます。

